



榴岡図書館だより

発行
令和 7 年 9 月
第27 号



My Favorite Book

『江戸の怪談がいかにして 歌舞伎と落語の名作となったか』



怖い話はお好きですか？

昔から怪談は、落語や歌舞伎などさまざまな芸能分野で扱われてきました。この本では、怪談の変遷と背景を知ることができます。

怪談は古代から江戸へ時代とともに変容していき、現在も変化し続けています。古代では不幸が自分に降りかかると、怨霊やもののけの仕業にしていたようです。この考え方だと、昔の話で陰陽師が活躍するのも納得ですね。中世では、大衆から能や狂言が生まれ、怪談を表現するようになりました。江戸時代に入ると、芸能や文学としての怪談が求められ、読み物や物語へと変化しました。中でも笑い話や怪異譚が人気で、「怪談」というジャンルが確立されたそうです。

顔が半分ただれたお岩さんが出る「四谷怪談」や、皿を数え続けるお菊さんが出る「皿屋敷」も、歌舞伎などの演目で昔から使用されている怪談の一つです。昔は恐怖シーンがわかりやすく表現されているイメージですが、現代では“日常の中に潜む恐怖”や、“意味が分かれると怖い話”などちょっと頭を捻ると気づく恐怖表現が多くなっている気がします。

このように怪談は、今日にいたるまで芸能を通して進化してきました。現代では、都市伝説やモキュメンタリーホラーというものもあり、種類が豊富です。現代の怪談と比べてみると、江戸の怪談はますます興味深く感じるかと思います。怪談について新たな魅力を発見し、さらに、視野を広めることができる一冊です。



『江戸の怪談が
いかにして歌舞伎と
落語の名作となったか』
櫻庭 由紀子／著
2022.7 笠間書院
388.1 サ

☆こちらもおすすめ☆



榴岡図書館 三田 綾香

『江戸の怪異と魔界を探る』 飯倉 義之／監修 2020.4 カンゼン 388.1 エ

『歌舞伎はじめて案内手帖』 君野 倫子／著 松本 幸四郎／監修 2019.10 二見書房 774 キ

『絵で見て楽しい！はじめての落語 イチから知りたい日本のすごい伝統文化』

櫻庭 由紀子／著 三遊亭 楽松／監修 2023.1 すばる舎 779

『全訳 大和怪異記』 福井 栄一／[訳]著 2025.3 現代書館 913 セ

『仙台怪談』 森野 美夜子／著 藤田 りんご／著 2023.4 竹書房 B セン

★榴岡図書館上半期イベントのご報告★

5月10日(土)

第1回 榴岡にぎわいワークショップ

日本の伝統文化「落語」を楽しもう。

演者：東北大学学友会「落語研究部」

演目：「雑俳」

「ひと目あがり」

「目黒のさんま」

落語会の様子



子育て講座の様子



6月5日(木)

第2回 榴岡にぎわいワークショップ

すくすく子育てはじめてのいっぽ
～ずっと良い親子関係を築くために～

講師：「親育まなびの杜ラボ」 守 菜都子氏

前半：おもちゃ作りのワークショップ

後半：声がけについての講座

7月6日(日)・8月21日(木)

常盤木学園高等学校との連携講座

SPECIAL おはなし会

高校生3名と一緒に、楽しいおはなし会を行いました♪

SPECIAL おはなし会の様子



今後の予定 ぜひ、ご参加ください！

◇毎月第1土曜日・第3水曜日：ブックトレード

◇10月29日(水)：秋の特別おはなし会

◇11月13日(木)：まち歩き

※詳細は10月以降お問合せください



発行：仙台市榴岡図書館

指定管理者：丸善雄松堂株式会社

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡 4-1-8

パルシティ仙台 4F 電話 295-0880



榴岡図書館HP



仙台市図書館HP



仙台市図書館
X(旧 Twitter)